

第22回例会

通算第 1257 回例会 2026年1月14日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテルアネックス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:平栗幹也さん
- ▶ ゲスト:中央分区分区ガバナー補佐 田鍋明宏様(郡山南 RC)
IM 実行委員長 カ丸義彦様()
中央分区分区幹事 平石秀樹様()

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

昨年 12 月末からビューホテル本館が改装工事に入りましたので、今日から例会場がビューホテルアネックスに変わりました。今日はこちらで初めての例会となりました。これから IM や当クラブの 30 周年記念式典・懇親会などいろいろな行事が目白押しとなります。出席率を高めたいと思っておりまますので、皆さんのさらなるご協力をお願い申し上げます。



▶ スマイルBOX報告:津野順子さん

田鍋明宏さん、カ丸美彦さん、平石秀樹さん、宮崎登志行会長、佐藤功一さん、小林悦子さん、片桐栄子さん、平栗幹也さん、橋本弘幸さん、平原憲さん、星相ノ介さんからいただきました。

▶ 出席報告:渡邊万里子 幹事

会員数 43 名、出席 17 名、欠席 26 名、出席率は 39.5%です。

▶ IMのご案内:カ丸美彦 IM 実行委員長

今日は IM のご案内にお邪魔いたしました。2月14日(土)午後3時開会、場所はこビューホテルアネックス 4 階、花勝見でございます。昨年の IM は郡山東 RC の担当でプログラムも盛りだくさんで素晴らしい内容でございました。今年はシンプルに懇親をメインにしまして、集合時間も登録開始が 2 時半、開会点鐘 3 時、基調講演の後に 5 時 40 分には乾杯をしたいと思っております。基調講演は「気象や地政学から見る郡山の未来」と題しまして、講師は FTV の天気キャスターをやっておられる斎藤恭紀さんです。郡山南 RC の例会でも卓話をされ



ましたが大変面白い内容です。ロータリアンはほとんどが経営に携わる方であり、いろいろなリスクを考えていかないといけないと思います。経済状況や社会制度、人手不足などいろいろなリスクがあるかと思いますが、その中でも自然災害のリスクは我々にはいかんともし難いリスクではないかと思っています。最近では東日本大震災、台風による水害の被害などの自然災害がありました。そのようなリスクに対しても、経営をするにあたっては常に備えておかなければいけないと思っております。そういう意味で、中央分区分区 IM でございますので、郡山における気象や地政学的な見地から見るリスクから、郡山の未来を考えましょうというような内容で講演の依頼をしておりますので、ぜひご期待いただきたいと思っております。2月14日、バレンタインデーですが皆様のお越しをお待ちしております。

▶ 中央分区分区幹事 平石秀樹様 挨拶



本日は 2 回目の訪問となりました。本年度は 2026 年で丙午の年です。私も泉田ガバナーと一緒に日の上馬官暦の年、男となりますので、また半年ですね。またもう一度ぐらいお邪魔すると思っておりますけれども、以後、お見知りおきいただきまして、残りの期間、よろしくお願ひしたいと思います。

プログラム:ゲスト卓話

▶ 中央分区分区ガバナー補佐 田鍋明宏様



皆さんこんにちは。ガバナー補佐として、ガバナーの方針や中央分区分区の状況などをお伝えるために去年の 11 月から各クラブ回っておりまして、今日が最後となりました。初めての方もいらっしゃると思いますので自己紹介をさせていただきます。私の出身は名古屋です。保険会社におりまして転勤で家内の出身地の郡山へ来て、第二の故郷のように感じ、保険会社を 32 歳で退社して 33 歳で学習塾を始め、去年 3 月までやっておりました。今はフリーランスでコンサルをしております。

私は 1996 年にロータリーに入会しました。今年の 11 月で 30 年

になりますので、30周年の郡山アーバンコスモスRCと同じです。その頃はロータリーの絶頂期だったように思います。その年には郡山南RCに22人が入会しました。40代がほとんどで一番の年長者は57歳でした。22人が入会して郡山南RCの会員数は100人を超えたことから、百合の会という同期の仲間の会を作って今も続いています。私は2005-06年の大槻順一会長の時の幹事を51歳で務め、還暦前の2013-14年に会長をさせていただきました。その時の郡山アーバンRC会長は鈴木かおるさん、郡山コスモスRC会長は安藤貞夫さん、ガバナー補佐は土屋繁之さんでした。今はなぜか私がガバナー補佐をやっており、とにかく忙しい思いをしております。郡山南RCにはガバナー補佐を経験されて今はガバナーノミニージェグネートの本田哲夫さんがいます。ガバナー補佐はそんなに大変ではないと聞いていたのですが、いろんなセミナーに出なければいけませんので実際には本当に大変です。中でもガバナー補佐の研修は朝10時から5時までパイプ椅子に座らされて過酷でした。これからも2月14日には中央分区インターシティ・ミーティング(IM)、4月11日には郡山アーバンコスモスRC30周年、さらに郡山安積RCの40周年、郡山南RCの55周年、郡山RCの90周年の式典が続きます。

まず生産年齢人口の推移のグラフを見ていただきと思います。14歳以下の人口の推移を見ると、私が学習塾を始めた頃の子供の数は2600万人でしたが、2025年には1324万人と半減しています。65歳以上の高齢者だけがが増えていています。ピークの2010年が1億2,860,000人で、ロータリーの会員数とちょうど関連しています。私が入会した1996年がピークで13万1400人だったのが、今は8万3000人ぐらいで、15歳以上64歳未満の生産年齢人口に比例しています。問題は今後です。2025~30年に生産年齢人口が315万人、2030~2035年には430万人減少し、約1000万人の働く人たちが減ってしまうということで2040年問題と言われていています。もうひとつ私が驚いたのは、0歳から50代初めぐらいの中心になる人たちが今も減っていますがさらに減ってしまうということです。そうなると働く人の奪い合いという状況になってくるのは間違いないだろうと思います。それに伴ってもっと考えなければいけないのは、看護師さんとか介護士さんの数が今でも足りないのに、もっと足りなくなってしまうことです。それから建築などインフラに関する人たち、運転手、飲食店でも少なくなってくることは間違いないと思います。

ロータリーに関して言えば、このままでは近い将来、日本のロータリーの会員数は8万3000人を切るのではないかと思います。ピークのとときよりも約38%の4万8000人ぐらいが減ってしまったのがロータリーの現状です。泉田ガバナーは入会3年未満の会員の減少が激しいことから、会員維持に力を入れたいと力説しています。以前はIMの時に新入会員の研修を開催していましたが、今年度は地区が主導で開催する形になりました。入会した771人が3年後には103名が退会

しました。新会員がこれだけ入ったのだけど、新会員の209人は辞められました。理由は介護とか会社の都合などいろいろ考えられます。一番多いのは高齢者の退会です。中央分区の会員の年代構成比率で一番多いのは65~69歳、次が70~75歳で、38.3%が65歳以上です。郡山アーバンコスモスRCの年齢構成を見ると、65歳以上の方の比率は中央分区よりやや少なくて35.6%です。30年の歴史の中で、このような状況であることも頭に入れておいていただきたいと思います。

郡山アーバンコスモスRCの年次計画書を拝見していて、「ビジョン声明」を見て素晴らしいと思いました。私が考えていることと一緒だと思いがいくつかありました。全国のクラブの平均人数は36人ぐらいです。実際の会員数はもっと少なくても30人ぐらいではないかと思えます。スモールサイズになることは間違いないだろうと私は思っています。ガバナーは40~50代の人を入れたいと言っていますが、現状を見るとかなり難しいと思います。郡山アーバンコスモスRCビジョン声明の「ビジョン達成のための戦略的優先事項」の中に、女性会員の増強を挙げていらっしゃいます。女性会員はまだまだ少なくて、比率は9%程度です。全世界の平均は約25%です。福島第一分区の福島RCの会長は女性です。地区で100人ぐらいいるクラブです。幹事が女性のクラブは3~4クラブです。流れとしてはごく普通で、いずれは男女の比率が近くなるだろうと思いますが、まだ違和感があります。また、シニア会員は元気な人が多く、働いている人も多く、地域のお手伝いなどもしています。この人たちの受け皿としてロータリーを考えていくのがいいのではないかと考えています。いずれにしてもかなり厳しい状況がこれから続くだろうと思います。

郡山アーバンコスモスRCのビジョン声明のように、なるべく早く会員全員が共有して、どのようなクラブにしたいのか、どのようなクラブでありたいのかをしっかりとしていかなければ、これから生き残っていけないのではないかと考えております。ネガティブな話になって申し訳なく思いますが、以上で私の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

